



# 女子中高生のための工業都市 東予・春の学校



新居浜高専で開催した講演交流会の講師の方々から、女子中高生の皆さんへのメッセージをまとめました。

また、実施後の参加者アンケートでは、「何事もやってみないと分からない点や、挑戦することの大切さについて学ぶことができた」「今後の学生生活の中での考え方の参考になった」「実際に第一線で働かれている方々のお話を聞くことがよかった」等の感想が寄せられました。

## 株式会社 コーセー 執行役員 情報統括部 部長 小椋 敦子氏

### 「人生のかじ取りはみずからが行うべし」



私はコーセーという化粧品会社で情報部門の責任者を務めております。今回は女子中高生の皆さんが将来の職業や自身の進路を考える際に、自分の意思を強く持って進んで欲しいと思い、これまでの私自身の経験をご紹介しますながら、皆さんに大切にしたいことをお話しました。まだやりたい事が見つからない方は、できることを増やすことで可能性が広がりますし、やりたい事が見つまっている方は、しっかり目標設定して実現するように頑張りましょう。

一番必要なことは、自分を大切にしてい、失敗は学びのチャンスと全てをポジティブに捉えることです。そうすれば、きっと様々なチャンスは巡ってきます。皆さんのこれからの活躍に期待しています！



## 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター

生体超分子研究部門 准教授 杉浦 美羽 氏

## 「女性研究者への道のりと生命科学分野の研究ワールド」



今回、「研究者」の仕事とはどんなものか、その中でも私が取り組んでいる「生命科学分野」の光合成研究を例にして簡単に紹介しました。生命科学分野は、生物、化学、物理の知識を使って、生き物のなりたちや生体内で起こる化学反応を明らかにする研究分野です。私は、我々の生存に必須の酸素や糖を高効率で作る光合成に魅せられて、この仕組みの解明をめざして研究を進めています。長年の疑問が自分たちの実験によって明らかになった時の感動は何にも代えがたい素晴らしいものです。せっかく理系の大学や高専に入学するのでしたら、興味を突き詰めて研究者をめざしませんか？

## 新居浜高専 機械工学科 野島 さん

## 「やりたいことって何だろう？ 気づける自分になる」



機械工学科でものづくり一色の日々も、はたまた環境活動に尽力した日々も、良い経験となり密度の高い5年間を過ごせました。エンジニアは様々な業界に必要だと思います。本当にやりたいことは何だろうって悩んで考えるのも大切な時間ですが、考えても私は結論を出せませんでした。だからこそ興味のあることに挑戦していく姿勢、これをずっと持ち続けていきたいと思っています。これから切磋琢磨して一緒に工業を盛り上げていける仲間が増えると嬉しいです。

